

重要



速度超過や連続空転をするとタイヤが傷ついたり、
チェーン切断等の破損が生じることがあります。

雪道は危険です。上記重要事項及び裏面の
取扱説明書の内容をよくお読みいただき
安全走行をしてください。

装着方法



取付・取り外し動画配信中!
<https://www.carmate.jp/biathlon/movie/>

*携帯電話の機種によっては、動画が見られない場合があります。
*パケット通信料は別途お客様のご負担となります。

Gebrauchsleitung in deutscher Sprache finden Sie unter diesen Internetlink.

※このシートは水や雪に濡れても破れません。

■使用前に必ず裏面の取扱説明書をお読みください。

■装着輪については、車に備え付けの取扱説明書をご確認ください。

本書では、前輪駆動車の前輪左側タイヤへの装着例を説明します。

左側が終了した後、前輪右側も同様に装着します。

(後輪駆動車の後輪タイヤへ装着する場合も同様に行ってください)

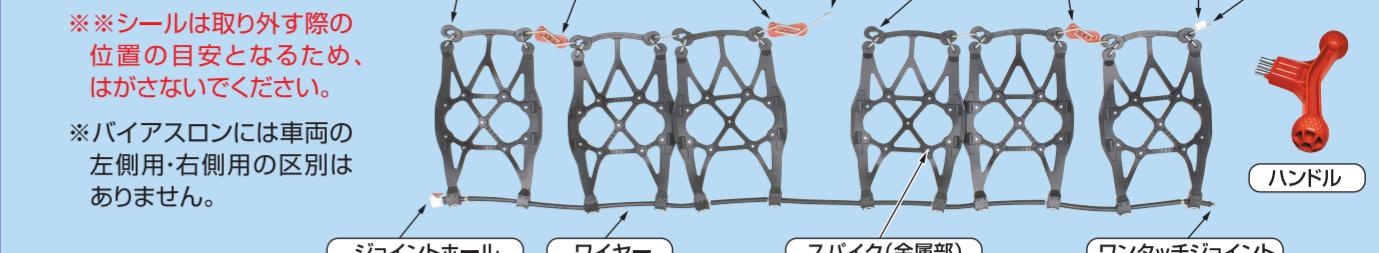
装着場所の選択

- 積雪・凍結路面を避け、平坦で他の交通から離れた場所に自動車を停めます。特にタイヤの周囲に積雪があると、装着しにくくなります。
- パーキングブレーキをかけ、MT車はシフトレバーをニュートラルに、AT車はセレクトレバーを「P」に入れ、エンジンを停止します。

装着用具の準備

- ハンドル(付属品)を用意します。けがを防ぎ衣類を汚さないために、軍手付き腕力バー(付属品)を着用します。
- ホイールカバーが付いている場合は、マイナスドライバー等を用意して取外してください。
- タイヤの空気圧が自動車メーカーの指定値と異なっている場合、装着しにくくなることがありますので空気圧を確認してください。

各部の名称

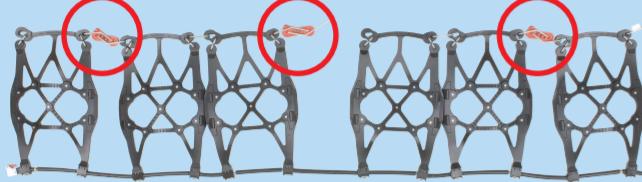


装着前の準備

[QE1～QE14]

- ①ロック部-Bのフックをホールから外します。
- 【QE14LおよびQE15～QE20】
- ①ロック部-Bのフックをホールから外します。
- ②ロック部-Aとロック部-Cのフックをホールに差しこみ、連結します。

ロック部-A ロック部-B ロック部-C



1 バイアスロンの回し込み

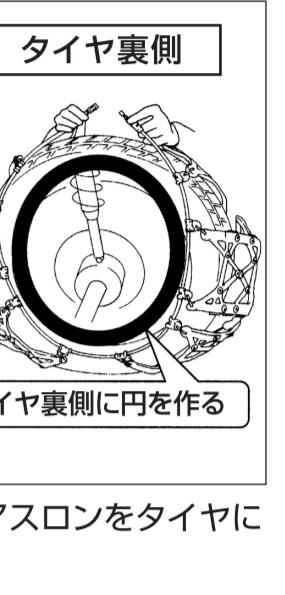
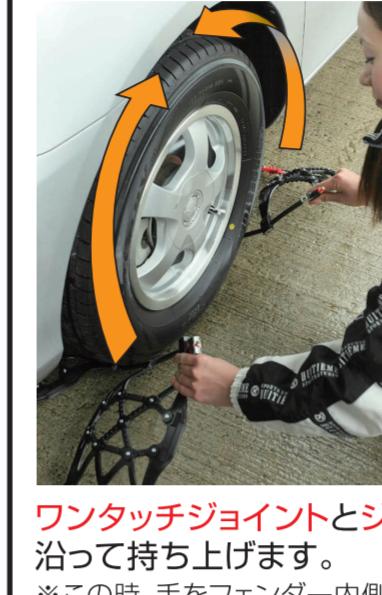
スパイク面が上側



スパイク(金属部)が見えるようにワイヤー側を手前にして地面に置きます。
3ヶ所のロック部を伸ばした状態にします。

タイヤ右側からバイアスロンをタイヤの裏側に回し込みます。

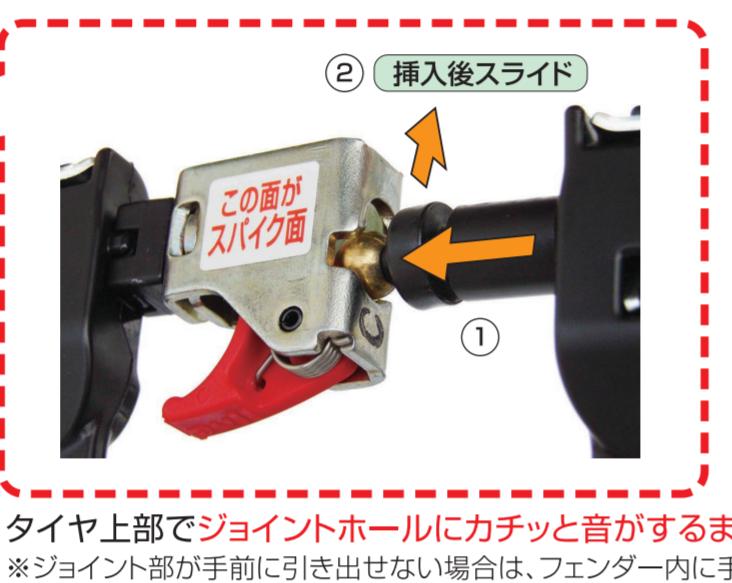
2 スパイクが外側を向くように、タイヤに沿って持ち上げる



ワンタッチジョイントとジョイントホールを持ち、スパイクが外側を向く様にバイアスロンをタイヤに沿って持ち上げます。

※この時、手をフェンダー内側に深く入れて、片側ずつ持ち上げるとスムーズに持ち上がります。

3 ジョイント部の接続



タイヤ上部でジョイントホールにカチッと音がするまでワンタッチジョイントを差込み接続します。

※ジョイント部が手前に引き出せない場合は、フェンダー内側に手を入れて接続します。

5 下側フックの接続

⚠️ バイアスロンが車両に引っ掛けがないことを確認してください。



- ①バイアスロンの上部をしっかりと裏側へ押し込む。
- ②バイアスロンを上から順に下へずらし、タイヤトレッド面に密着させる。
- ③バイアスロンの下側をタイヤ裏側から手前にしっかりと引き出す。
- ④下部のフックをホールに引っかける。

6 ロック部のロック



B→A→Cの順でハンドルをロック部に差しこみ、ロック部をタイヤに押しつけながら右に回し、バイアスロンを締め付けます。

ロックアームがストッパーを完全に乗り越えるようにハンドルを回転させます。

7 装着完了・確認・テスト走行

上側・下側2ヶ所のフック①②(QE14LおよびQE15～QE20は①②③④)が確実に掛けられていること、ロック部③ヶ所④(A)(B)(C)がロックされていること、ジョイント部が掛けられていることを確認して装着完了です。



テスト走行をしてください。

装着後に必ず低速で100mほどテスト走行をしてください。その際にタイヤ周辺から車体への接触による異音が無いことを確認してください。テスト走行後、ジョイント部・ロック部やフックが外れていないことを手で触れて確認してください。テスト走行によってバイアスロンがタイヤに同じく、各部の締め付けが均等になります。

取外し方法

取外し場所の選択

- 積雪・凍結路面を避け、平坦で他の交通から離れた場所に自動車を停めます。特にタイヤの周囲に積雪があると、取外しにくくなります。
- パーキングブレーキをかけ、MT車はシフトレバーをニュートラルに、AT車はセレクトレバーを「P」に入れ、エンジンを停止します。

取外し用具の準備

- ハンドル(付属品)を用意します。けがを防ぎ衣類を汚さないために、軍手付き腕力バー(付属品)を着用します。
- チェーン本体を外した後、装着の時に外したホイールカバーをもと通りに取付けます。

4 ジョイント部の解除



タイヤ裏側のジョイント部を外します。

※前輪駆動車の場合、ジョイント部が外しやすい方向に車のステアリングを切ると楽に外せます。

2 ロック部の解除



ハンドルをロック部に差しこみ、ロック部のアームがストッパーを乗り越えるように左に回します。3ヶ所の解除の順番は特にありません。

3 フックの取外し・落とし込み



シールが貼られているフックと対角線上にあるロック部のフックを外し、タイヤ上側のバイアスロンをタイヤ裏側に充分に落とし込みます。

ジョイント部の解除方法



ジョイントホールの赤いレバーを指で引き上げて、ジョイント部を外します。

ジョイント部を外し終えたら車のステアリングをもとに戻します。

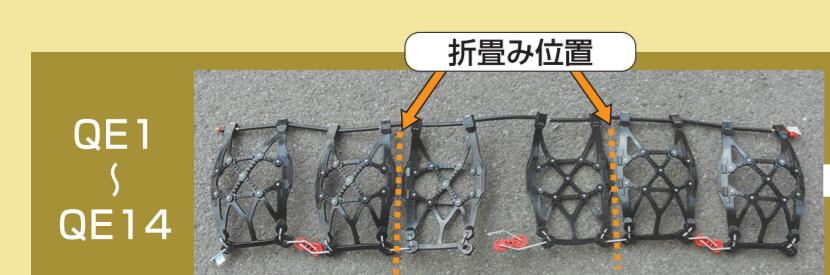
5 取出し



バイアスロンをタイヤに沿って引き伸ばして地面に敷き、車を移動してバイアスロンを取出します。

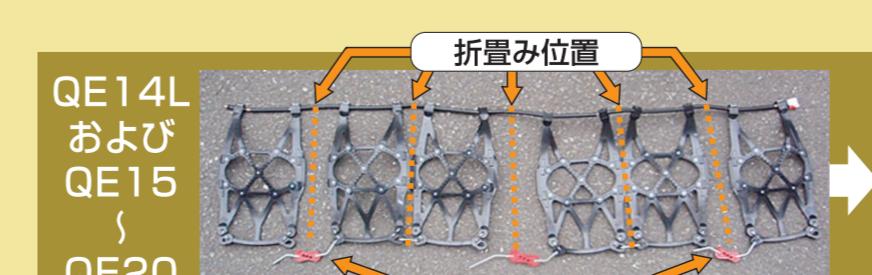
収納方法

- ①QE1～QE14は3ヶ所のロック部をロック状態に、QE14LおよびQE15～QE20はロック部を解除状態にして、スパイク(金属部)が上側に見えるようにして地面に置きます。
- ②スパイク(金属部)が内側になる様に、QE1～QE14は3つ折りに、QE14LおよびQE15～QE20は6つ折りにして、バイアスロンをケースに収納します。



QE1
QE14

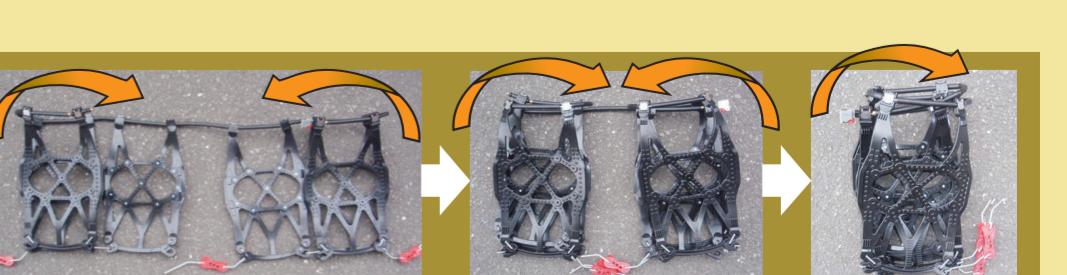
折畳み位置



QE14L
および
QE15
QE20

折畳み位置

フック解除



折畳み完成状態